

市民ワークショップ

- ・日時：10月29日（木曜日）、10月30日（金曜日）19時～21時
- ・対象：市内在住、在勤、在学の人
- ・参加：39人

バックキャスティング（未来起点型手法）とは？



当日は、以下のテーマごとにグループに分かれて意見交換を行いました。

【10月29日（木曜日）】

「福祉」、「コミュニティ」、「都市基盤・まちづくり」、「産業振興」、「環境」

【10月30日（金曜日）】

「子育て・教育」、「防災・安全」、「健康・医療」、「観光・文化」、「海洋」

主な意見

- ・今は地域の力が薄れていっている。地域の力をもう一度、バックアップして行けるような枠組みを再生できることが理想。
- ・子育て、教育に横須賀にある自然などをもっと活用すべき。
- ・高齢者が多く、地形的に厳しい所に住む方も多い。医療分野においてデジタルを上手く活用できれば、行かなくても早めにケアできる。
- ・地元好きで横須賀生まれ育ちの人が多く。それは、横須賀らしいコミュニティのいい特徴になるのではないか。
- ・近所に誰が住んでいるか普段は分からなくとも、緊急時には助け合いができるような仕組みがあるとよい。

- ・活動的な人間で溢れる横須賀を目指し、市政と市民の距離感の近いまちにしていく。
- ・自然が豊か、それでいて都心に近いことを強みとして、ワーケーション、サテライトオフィス、個人を呼び込む。
- ・観光の際、点在するスポットを歩いてまわるのは大変。それを補う仕掛けが必要。
- ・SDGs など社会的価値を上げる仕組みに投資する姿勢を表明すべき。
- ・見て、触れてきれいな自然を、市民が一緒になってつくるような横須賀でありたい。

参加者の感想

参加者アンケートでは回答者の約 83%の方から「参加して良かった」というご感想をいただきました。

- ・様々な性別、年齢層の方々との活発な意見交換ができた。
- ・市民自身が自分たちの未来を考えるワークショップだった。
- ・どこからでも参加できるのでオンラインでよかった。
- ・横須賀をより良くしていきたいと考えている人は割と多いと思うので、様々な立場や環境の人の意見を吸い上げることは大事だと思う。
- ・前もって資料が提示されていると、より活発な議論になったと思う。